



区政に挑戦！

震災支援を通じて強めた思い

若者が住みつづけられる 中野区を

政治を学びたいと進んだ大学で、日本共産党にでていきました。高すぎる学費や平和の問題などに取り組み、東日本大震災の被災地支援にも従事。「困難な人によりそう政治の実現に生涯を」との思いを強くし、「若者が住みつづけられる中野を」と決意しました。全力をつくします。

日本共産党 中野地区
青年・雇用対策室長 中野区議予定候補

羽鳥だいすけ

日本共産党

羽鳥だいすけさんの訴えと政策、共産党中野地区委員会の見解を紹介します
中野の広場 2015年春期号外 中野の広場社（中野区野方 1-17-4）

人々の苦難軽減—共産党の原点を、心に 希望の持てる社会実現へ 全力で奮闘します

「政治って何なんだろう？」

共産党との出会いで疑問が氷解

羽鳥だいすけさんは、小学生の頃から政治に興味を持ち、新聞とニュースのチェックが毎朝の日課でした。中学生の頃、ふと目にした諫早湾干拓問題をきっかけに「国

が国民の中に対立をつくるのか」「政治っていったい何なんだろう」と考えるよう。以来、公共事業や環境問題に着目して政治を追いつながら、もっと深く政治を学びたいと大学の政治学科へ進みました。入学後、青年運動の講演会や学習会に参加する中で日本共産党に触れ、歴史のところえがたや日本の現状の分析に大きな衝撃を受けました。これまでずっと疑問に思っていた政治のおかしさの原因をようやく突き止めたと感動、さらに社会の仕組みを学ぶうちに確信となり、「この道をつらぬこう」と18歳で入党。

周りには、大学の学費が払えず一年で退学した友人や、高校卒業後、一年間アルバイトをして学費を貯めた友人がいました。「日本の学費は高すぎる」羽鳥さんは仲間と一緒に、身近な問題である学費値上げ反対運動をはじめ、学生9条の会の平和運動などに積極的に参加、力を注ぎました。

「困っている人を支える」が共産党の原点

卒業後、羽鳥だいすけさんは、民主青年同盟の専従職員に。そして2011年の東日本大震災が起きました。

被災地で1か月の救援活動



羽鳥さんも職場の仲間とただちに被災地へ。1か月間、宿泊所の運営・ボランティアの受け入れ・物資の配給・要望の聞き取りと奔走。その後も繰り返し被災地に入り、仮設住宅の要望を何度も市役所へかけあつて劣悪な居住環境をひとつひとつ改善させました。

被災地では困っている所に奮闘する共産党の姿があり、「党の原点はこれなんだ」と思いを新たにしました。羽鳥さん自身も「目の前にいる被災者を少しでも助けたい」と夢中でした。

父の死を繰り返させたくない 人間らしく働き暮らせる社会を

羽鳥だいすけさんが高校3年のときの中越地震で、父親の働いていた会社の工場が被災。父は工場の復旧に追われ、2か月後に倒れて帰らぬ人に。政治がきちんと働くルールづくりをしていたら悔やまれてなりません。

いま、羽鳥さんはパワハラやサークルの働きがいのあるブラック企業退治に取り組んでいます。不当な責任を押し付けるブラックバイトも深刻です。

働くルールを改悪する政治は許せません。若い人が希望を持って働ける社会へ、全力をつくします。



子どもの頃から
政治マニア！

都議団の事務局で くらしの調査・政策づくり

消費増税の影響など

羽鳥だいすけさんは、躍進した共産党都議団の事務局拡充のため転職、都民の要望をもとに、調査活動や政策立案を担当しました。

植木こうじ都議と一緒に企画した消費税の増税影響アンケートで、中野区の商店街の実態調査も進めました。都民や区民の置かれている現状や暮らしの声の調査にもとづく論戦が議会や行政を動かす大きな力ぎになることを実践的に学びました。

羽鳥さんは、若者の雇用や環境問題、「稼働原発ゼロから廃炉へ」の声も、今後は区政の場からの発信をめざしてさらに取り組みを進めます。



羽鳥さんをぜひ区議会に

都議会議員 植木こうじ

羽鳥さんの若い視点と調査・行動力は、議会論戦の支えとなりました。取りまとめと分析が質疑の重要なポイントになりました。

ブラック企業や社会の矛盾に正面から向き合ってきたからこそ、住民の暮らしの痛みに応える力がつちかわれたのだと思います。区政の場での活躍を大いに期待しています。

羽鳥だいすけの お約束



一昨年の都議選・参議院選挙、そして昨年の総選挙で日本共産党は躍進し、国政でも都政でも国民の立場で建設的な提案をおこない政治を動かしてきました。「日本共産党を伸ばしてこそ、日本の政治が変わる!」それは中野区政においても言えます。中野区は今、オール与党が中野駅前の大規模開発に湯水のようにお金を注ぎ込んでいます。その一方で、私たちの住む鷺宮・上鷺宮・若宮・白鷺の地域はどうでしょうか。

私はコミュニティバス「なかのん」の復活、認可保育園や特別養護老人ホームの増設、若者への家賃助成制度の創設や就労支援の拡充を行い、「誰もが安心して住みつけられる中野区」の実現をめざして全力を尽くします。

- 青年の就労支援
- 非正規・ブラック企業労働者の無料相談
- 窓口設置
- 国保、介護保険料・利用料の軽減
- 保育園・特養老人ホームの増設
- 家庭ごみの有料化に反対
- 若者の家賃補助制度の創設
- 「なかのん(旧)」の増発
- 西武新宿線の地下化で渋滞解消
- 中杉通りの拡幅(白鷺地区)は住民合意で憲法擁護・非核都市宣言をいかすまつくり

躍進した力で
さらに
ガンバります!

©カクサン部!



地方政治からも「暴走政治ストップ」

日本共産党
衆院議員 池内さおり

羽鳥だいすけ



先の衆院選東京ブロックで見事当選を果たした池内さんは、中央大学での4年先輩。平和や学生の権利を守る運動、学習などをリードしてくれました。

池内…ご無沙汰しています。羽鳥君に最初に会つてからちょうど10年目だね。

羽鳥…お久しぶりです。ええ、大学入試のあの頃、小泉首相の靖国参拝や、扶桑社の教科書などが大きな問題になつてた。大学に合格してから、歴史問題で靖国神社のフィールドワークなどにも行きましたね。

池内…それから日本軍「慰安婦」の問題で、日本の加害の事実を学ぶために韓国にフィールドワークにも行つたよね。

羽鳥…大学の仲間と行つた韓国では、元慰安婦の方の話を聞いたり、ソデムン刑務所歴史館を見学し、日本の侵略の実態の一端に触れ、体が震えました。

池内…羽鳥君は学生の頃から正義感が強く、おかしいと思つたことは徹底的に調べてたよね。学費問題でもアンケートを集めて学費値下げ要求などを大学当局に突きつけ、一人で乗り込んでたね。それが今仕事のバックボーンになつていてるんじゃないかな

羽鳥…いやあ、恐縮しますね(笑)。大学を卒業して、1ヶ月間、石巻で被災地支援をおこなつたのは自分にとって本当に忘れない大切な経験でした。仮設住宅の設備改善をさせたのは嬉しい成果でした。国がもつと手をさしのべないと。それに原発の再稼働は絶対許せないです。

池内…私も官邸前に行つてる。国会や議員会館にも抗議の声が聞こえてくる。

羽鳥…僕はその後、共産党の都議団事務局に入り、都議会政策をつくるために、消費税の実態調査で野方商店街の聞き取りなんかもやりました。また、都議会によせられる住民要望の請願の調査も僕の仕事でした。この経験もぜひ活かしたいです。

池内…がんばって。わたしは国政で、羽鳥君は地方政治で、今の悪政の暴走をストップさせるために力を合わせてがんばりましょう。

羽鳥…いつしょにこれからもがんばりましょう。

(固い握手)





羽鳥だいすけさんは こんな人

小さい頃は父親の転勤で大阪、シンガポール、群馬と転校が続きました。そのせいか、どこでもすぐ人に仲良くなれます。



子どもの頃から電車に乗るのが大好き。見たことのない景色が車窓を流れて行くのを眺めるとわくわくします。2014年の夏には鉄道で4日かけて熊本県の阿蘇山まで行きました。



【略歴】

- 1986年生まれ ● 群馬県立高崎高校卒
- 中央大学法学部政治学科卒
- 民青同盟東京都委員会常任委員、共産党都議団事務局勤務を経て現職
- 趣味：料理・旅行・アニメ



Twitter
発信中！



日本共産党



ご意見・ご感想、区政へのご要望は… tel. 03-3310-2257

カラオケで鍛えた発声がいま演説で大活躍！

カラオケは友人と行くのもいいけれど、たまには「一人カラオケ」でストレス発散。



料理は母の手伝いをしながら自然とおぼえました。外で食べた味を家で再現してみたり、友人を呼んで手料理をふるまつたり。和食が得意。

デモが好き！学生の頃から「教育基本法の改悪反対」「脱原発」「集団的自衛権反対」など様々なデモに参加。ひとつのメッセージで一体になれる感動、行動が社会を動かしていることを実感します。



©カクサン部！